

2025 12/23・2026 1/13合併号

No.2249・2250

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
—神奈川政経懇話会—



2026年の干支「午^{うま}」をデザインしただるま作りが平塚市の荒井だるま屋で行われた。午にちなみ、「あきらめない
きょうまうくいく」がテーマという。正月の川崎大師などで販売される。



政経かながわ

2025 12/23・2026 1/13合併号

No.2249・2250

contents

視点描	3
「旧姓の通称使用」に思う	
講演録	4
「なるほど！感動カンパニー」への挑戦 ～逆境を生き抜くプラス発想～ ありあけ創業オーナー・会長 藤木 久三	
特集	8
今、アメリカで起きていること トランプ2.0で進行中の「ディストピア」	
政治双眼鏡	12
高市政権に息切れの不安も 「働いて、働いて」の先の重荷	
平井久志×リアルワールド	13
少年期の犯罪、どこまで問えるのか	
グリーン&ブルー	14
クマを呼ぶ農村の衰退	
蝶花楼桃花のNEWS箸休め	15
「エモ仲間、ができた瞬間	
音楽の森	16
ミセスに戦国武将あり	
口福の源	17
煮物で祝うお正月	
くらし2025	18
保育大手が採用差別やダミー求人 人手不足が背景、氷山の一角か	
神奈川景気データファイル	20
かながわTODAY	22
2026年の主な予定	

事務局だより

◇2026年1月定例講演会

1月15日(木) 午後1時30分～
午後3時

神奈川新聞社12階大会議室
(横浜市中区)

講師：文芸評論家 三宅 香帆氏

演題：なぜ働いていると本が読
めなくなるのか

◇2026年2月特別講演会 (TOPセミナー)

2月18日(水) 午後3時30分～
7時10分(6時から懇親会)

ホテルニューグランド
(横浜市中区)

講師：富士フイルムB I ジャパン
(株)取締役常務執行役員・

CTO 鍋田 敏之氏

バトミントン北京オリン

ピック日本代表

小椋 久美子氏

※富士フイルムビジネスノ

ベーションジャパンと共催。

定員30人(抽選)

【お知らせ】 神奈川政経懇話会事務局は、12月27日(土)から1月4日(日)まで休業とさせていただきます。

視点 点描



「旧姓の通称使用」に思う

政府、与党が旧姓の通称使用を法制化するための関連法案を来年の通常国会に提出する方向で検討に入った。夫婦同姓の制度を維持した上で旧姓に法的効力を与え、結婚に伴い改姓した人の不便を解消することが目的だという。

高市早苗首相は選択的夫婦別姓制度に反対の立場だ。首相就任前

には、国・自治体、事業者などが幅広い分野で旧姓を通称使用できるよう努めることなどを求める新法案を「私案」として示してもいる。自民党と日本維新の会による連立合意書にも法制化についての内容が盛り込まれていたが、唐突とも感じるニュースには驚いた。

旧姓の通称使用は広がり、運転

免許証やパスポートにも併記できるようにになった。法制化されることで利便性が広がることを前向きに受け止める人もいるだろう。だが、それと選択的夫婦別姓を一つにして考えてはならない。

なぜなら、旧姓の通称使用の法制化では、改姓することによるアイデンティティーの喪失や、ジェンダー平等に反するという問題は解決できないからだ。法制化されたとしても旧姓は「通称」にとどまる。結婚により改姓しなければならぬことに変わりはない。

結婚で改姓するのは9割以上が女性だ。慣れ親しんできた姓を変えることへの欠落感、そしてそれを求められるのは多くが女性だという不平等はそのままで、根本的な問題は残り続ける。

法務省によると、法的に夫婦同姓を義務付けている国は日本だけだという。夫婦が同じ姓を名乗る

という慣行が定着したのは明治時代とされる。この「伝統」は、およそ130年程度のことでしかない。

親と子どもで姓が異なることで不利益が生じるという声もある。だが、別姓制度の国で子どもにも悪影響があったという話は聞くことがない。別姓で「家族の一体感が失われる」という保守派の主張は、諸外国を見ても根拠に欠ける。

筆者と夫は別姓だ。子どもは夫の姓なので、母子で姓が異なる。だからといって「家族の一体感が失われ」といるとは思わない。彼も家族全員が同姓の家庭に生まれた子どもと特に違いはなく、すくすく育って20歳を超えた。「一体感」や「絆」といったものは何もって証明されうるものなのかと、時々考える。

(神奈川新聞社文化部長

尹 貴淑)